
レベル1勇者様は
美人エルフお兄さんの
お嫁さんにジョブチェンジ
強制ジョブチェンジです。

拝啓
お父さん　お母さん
俺が家出したんじゃないかと
心配してるでしょうか
実は俺、家出したんじゃなくて
異世界トリップしたんです

ホームシックになって描いた似顔絵

『バカなこと言ってないで早く
帰って来なさい』って
呆れられちゃいそうですが、
本気と書いてマジな話なんです

ひ…っ、やめっ！
や、そんな、
とこ…っ

ず…ずる…

ぽよぽよ

なんなら異世界トリップ
あるあるで勇者なんか
やっちゃってます

うじゅる
うじゅる
じゅる

異世界生活1日目

え!?
ふざけてただけ!?

ガーん

ええ。見習いが召喚の儀の
真似事をしていたら偶々…
才能があったようでして…

残念ながら、元の世界へ
帰る方法は文献に
記されておらず…

方法が見つかるまでの間、
勇者様としてこの世界を
お救いいただければと…
報奨金も出ますので

そんなついで
みたいな感じで!?


もう1つマジな話をすると
俺は今、人生最大級のピンチに陥っています
ギチッ
みちっ
誰かあぁーーっ
だずげでぇえーーっっ!!
ぷちゃ
ぷちゃ
ぢっ
ぢっ
ぢっ
ひっ……!


うあっ、どこ触って…っ！
なんで胸なんか…
ちゅぱ
ま、まさかっ、心臓から食べる気なんじゃ…っ
ちゅう
ちゅう
や、ダメだって！俺なんか食べても美味しくないから！
ギュッ…
異世界まで来て謎のヌトヌトした生き物に食べられて死ぬなんて嫌だ…！
うぅっ…
ギュゴゴゴエエエーッツ！
ネオ森


うあっ…！
ドドドドドド
シュウウウ
ユーシ様、お怪我はございませんか？
サイラスさん！
ぽぁぁぁ
間一髪、間に合ったようですね
ご無事で何よりです


ザイラズざんっ！
いつもありがとう
ございまずぅ…っ
いえいえ
またスライムの群れに
いじめ…襲われているの
ではと肝を冷やしました
この光り輝く美貌に
聖人オーラを纏ったお方は
サイラス・カミンスキーさん
大量のゴールドと初期装備だけで
野に放たれ、スライムの群れに
タコ殴りにされていた俺を
助けてくれた聖人ならぬ
聖エルフさんだ
いだっ！
ごめんなさい！
ドカ☆
イタッ
ツンツンも
ちょっと痛い…！
ううっ、ずみばぜん
なんかいい匂いするなぁ
ってフラフラしてたら
変なのに捕まっちゃって…
ああ、これは
食人植物ですね
獲物を誘き寄せるために
魅惑的なフェロモンを
放っているんです


体液を浴びてしまったようですし…
しゃっ
チカクノムラ
大事をとって今晩は近くの宿で体を休めましょう！
この間も俺が足挫いちゃったせいで足止め食っちゃったのに…
ホント足手まといですいません…！
いえ、お気になさらないでください。この辺りの村で悪事を働くオークの棲家は焼き払いましたからきっと村の方々も我々を歓迎してくださるはずです
綺麗で強くてカッコよくて優しくて、完璧っていう言葉がこんなに似合う人は他にいないだろうな―


勇者様、私たちの村を救ってくださってありがとうございます！
何もない所ですが、どうぞごゆっくりお過ごしください
わー、ご馳走だ！ありがとうございます！
カポーーーン
はぁ～～生き返る～
いきなり異世界に召喚されて勇者になれって言われた時はどうなることかと思ったけど
サイラスさんみたいな素敵な人と出会えて俺は世界一ラッキーな勇者だ
お布団ふかふか～
ギッ
はぁ…っ
ギッ
あ…っ
ギッ
は…っ
ギッ
ん…っ


ん…っ
ふ、んぅ…っ
随分はしたない身体になってしまいましたね
口接だけで
こんなにも期待するなんて
ん、はア…っ
ンア…っ！
あ、ン…っ


はじめの頃は
慎ましやかでしたが
今では随分と淫らに
育ってしまいましたね
昼間の魔物もユーシ様の
胸を気に入っていた
ようですし
母乳が出ると
勘違いされたのでは
ありませんか
アレはまだ幼体
でしたからね


ぽちん
ん、あ…？
へ…？
ピタッ
…うわっ、スイマセン！
俺、寝てる間に脱い
じゃってましたか…!?
しかもちんこ勃っ、てるし…！
ん？でもさっき…
サイラスさんが俺の
乳首舐めてたような…
ああ、目覚めて
しまわれたのですね
術のかかりが
少し甘かった
でしょうか
へ…？
ぽわっ


ユーシ様、貴方は今
夢を見ているのです
ゆ、め…？
ぐにゃあぁ
ええ。
夢の中ですから、
恥ずかしいことは
何もありません


そうか、夢…
俺は今、夢を見てるんだ
これから起こる
ことは全て
夢の中だけの
秘め事です
いいですね？
は、い…
ゴクン
ふふ、お利口さん
ですね


ぽー
ご、ほうび…？
はい。
なんでも
お望みのモノを


いい子のユーシ様には
ご褒美を差し上げなくては
ポンポン

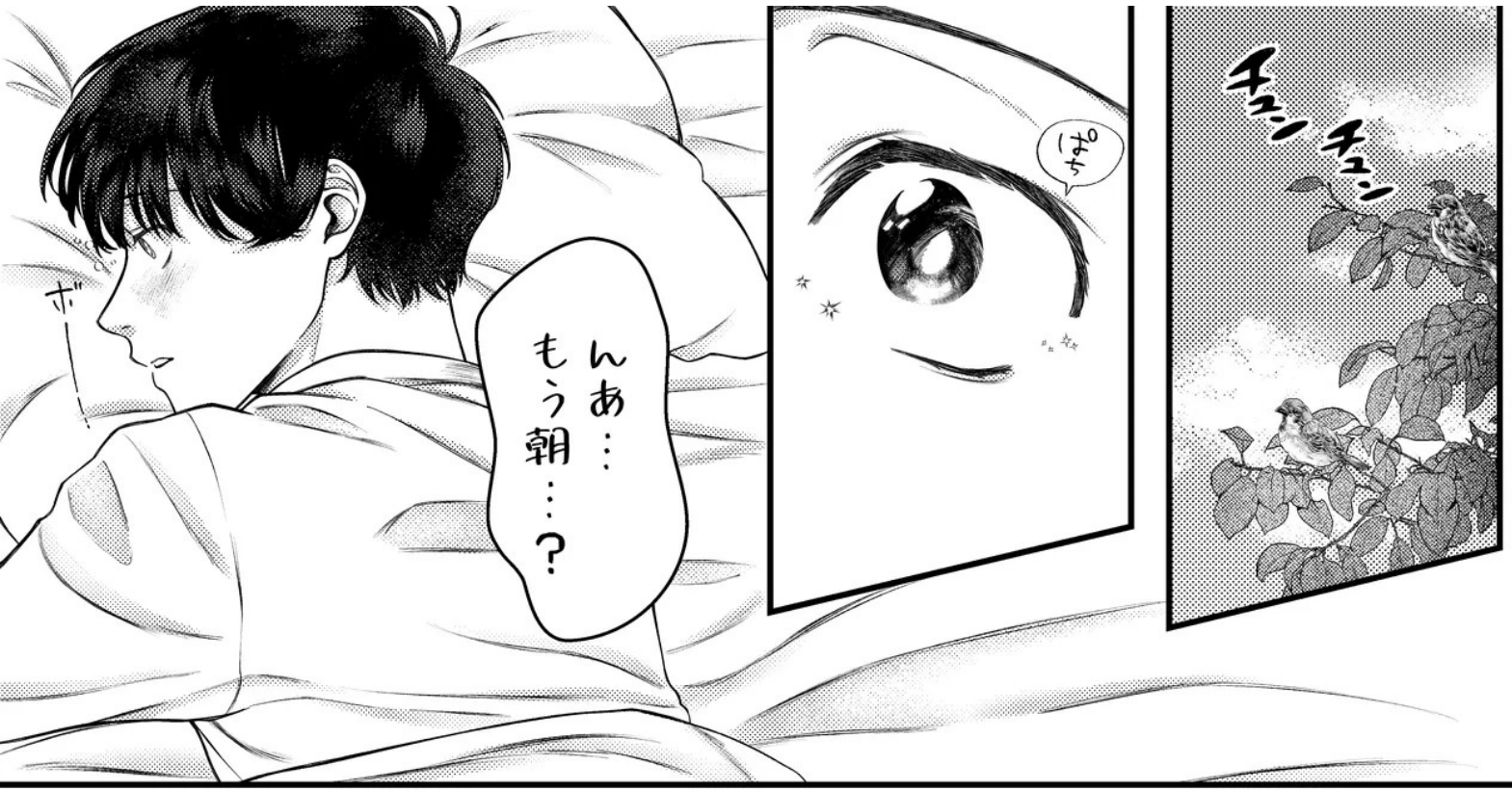

"ご褒美"が何か
知ってるみたいに
体が勝手に動く
ゴクン
はぁ
っ…はぁ
は…っ
おなかの奥、
熱い…
物欲しげな顔を
なさって
どうされたのですか？
ぴくんっ
や…っ
だめ、です…
ぴくっ
ユーシ様、ご褒美に
何をしてほしいのか
きちんと言葉にして
いただければ
その通りにいたしますよ
ゴクッ
なんか、ヘンだ…
お尻の穴、触られてる
だけ、なのに…っ


サイラスさんの声が耳元でして、
甘い香りに包まれて…
頭がクラクラする
ドクッドクッ
穴が物欲しげに
吸い付いてきますね
分かりますか？
っ…そんな、こと
言わないで、
くださ…っ
お腹の奥、どんどん
熱くなる…っ
はぁ…っ
はっ
こんなの…っ
ヘン、なのに…っ
はぁ
はっ
お、お尻っ
いつもみたいに
グチュグチュして
はぁ
ガクッガクッ
いっぱいイジメて
ください…っ

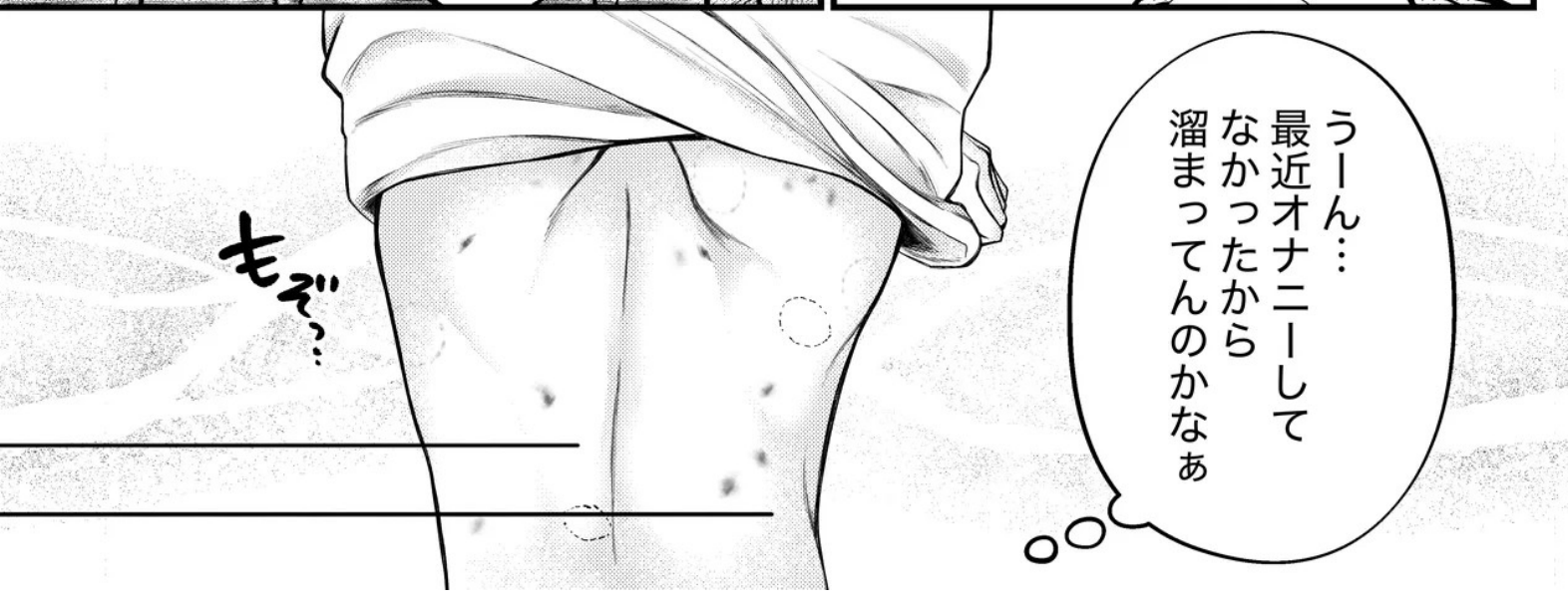

いつもみたいにって、俺、何言って…
イジメる、だなんて心外です
ずぷっ♡
んぁあ♡
いつものようにユーシ様の大好きなトコロ、優しくヨシヨシして差し上げますね
パチパチ
は、ひっ♡なに…？
やっ なに？
ソコ…♡
ヘン…っ


あはぁ…♡
ぴくっぴくん
あっ…♡
ビクッビクッ
やあっ
だめ…っ♡
ぷくぷく
ぶるぶる
あっ
や…っ
こわ、い…♡
くりくり♡
ぴくっぴくっ
ぴくん♡
はっ
あぁ…♡
おねが…っ
もぉ、やめ
んぐっ!?
ちゅう♡
ちゅっちゅぱ
んぐっ…♡
ぐーっ♡
チュー、してる…?
俺、初めて、なのに…!
こんなエッチなの
知らない、のに…♡
ん…っ
サイラス、さん…♡
はっ
ぶるんっ
ぎゅうう
はっ♡
あ♡
あぁ♡
あ…っ♡
んふっ♡
ちゅう♡
ちゅっ
くちっ♡
くちゅ♡
はっ♡
んっ♡
ぐむっ♡
んっ♡


勇者様ともあろうお方が
この程度で気をやって
しまわれるとは
まだまだ鍛錬が
必要なようですね


チュンチュン
ぱちっ
んあ…
もう朝…？
ボー…


なんだろう…
なんかすごくエッチな
夢を見たような…
カー…
コンコン
R18
ユーシ様
おはようございます
宿屋のご夫婦が朝食を
用意して下さった
そうですが、
召し上がられますか？
あっ、おはよう
ございます！
すぐ準備します！


うーん…
最近オナニーして
なかったから
溜まってんのかなぁ
もぞっ…


グギャッ！
グギゴォ…ッ
ギャー!!
何言ってるか
分かんないけど
ごめんなさい…っ!!
有り金を全て寄越せ、
さもなくば腸を引き摺り
出して血肉を啜ってやる、
だそうです
めちゃくちゃ怖い
こと言ってた…！
ご安心ください。
ユーシ様には
指一本触れさせません
グギャーーッ！
ちーーーん…
グルル…
すごい！
流石サイラスさん！
ユーシ様をお守りする
ことが私の使命ですので
もう本当にありがとう
ございます！
俺が今生きてられるのは全部
サイラスさんのおかげです…！


戦闘は不得手なようですが、
こちらは飲み込みが早く
素晴らしいですね
さあ、もう一度
復習しまょうか
射精の伴わない
絶頂の感覚を身体で
覚えましょうね
ん、は…っ
んぅ、ン…ッ


あっ、なんか落としましたよ！レアアイテムですかね？
これは糞ですね
糞!?
サイラスさんのおかげで冒険の日々は順調そのものだ
だけど1つだけ、最近の俺には大きな悩みごとがある
ん、く…っ
は、ふ…っ
ん、はぁ…っ
ちゅ
ぬち…っ
ちゅこ
ちゅこ…っ
ダメだ…
やっぱりちんこじゃ上手くイケない
何を隠そう思春期真っ盛りにしてED気味になってしまったのだ
とはいえ、完全に不能になったわけじゃない
とある方法で勃つには勃つのだ
…誰も見てないよな
一応小声
キョロ
キョロ
っ…ン♡
ふるっ
はぁ…っ


は…っ
あぁ…っ
なんでこんなことって
自分でも思う
けど、ちんこを弄るより
こっちの方がずっと
気持ち良かった
っ…一本じゃ
足りない…♡
あ、きもちぃ…♡
ここ、コリコリ
してるトコ…♡
ヤヤ…

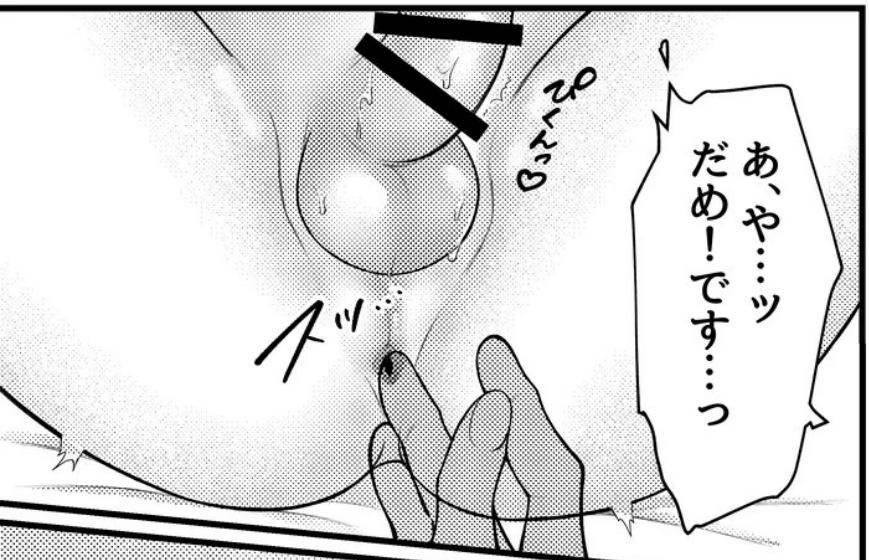

ユーシ様？
へあ…？
はぁ…っ
はっ
じー…
おっ
ヒタッ
ちゅぽんっ♡
あああの…っ！
ココココレは違くてっ
ヤヤヤヤバい…!!!
……
絶対ドン引きされてる!!!


思っていたよりも
随分と淫乱になって
しまったようですね
へ…？
いんらん…？
聞き間違いだよな？
私の前で恥じらう
必要はありませんよ
え？
見られて興奮して
いるのですか？
ピクッ
あっ、なっ
ささ触っ…!?
だっ、ダメですよ!?
貴方の身体を淫らに
作り変えたのは
他でもない
この私なのですから


お可哀想に
あっ
お一人では満足に慰められなかったのですね
や…っ
サイラスさっ!?なに、して…っ
ヒクッ
あっ、だめ…っですって…
ヘンだ…サイラスさんもだけど、俺のカラダ…っ
や、そんな…っつよく、しちゃ…！
自分でするのと全然違う俺のイイトコ全部知ってるみたいに…♡


はなしてっ、
くださ…っ
も、イキそお、
だからぁ…っ
どうぞ
ご遠慮なさらずに
ふ、く、ンン…ッ！
ぎゅうぅぅっ
ク、る…！
乳首だけ、なのに…ッ
イ、ク…っ
ちか ちかっ
ビクッビクッ


はぁ…ーっ
はーっ
チュ
チュッ


あ、や…ッ
だめ！です…っ
ぴくんっ♡
スッ…


上手に気持ち良く
なれましたね
んあ…ッ♡
くちゅ
くちゅ
ぬちゅ


そんなっ、とこ…
汚い、ですからぁ…っ♡
自慰をなさる為に
綺麗にされたのでしょう？
ナカまで上手に
洗えていますよ
はぁ♡
は♡
はっ♡
っ…、ふ、あ…っ
や、だめ…っ♡
スリ


あひっ♥
ぬちゃ…♡
ヒクッ
ヒクッ
ダメ、なのに…っ
サイラスさんに触られると
頭がぼーっとして…
は、ぁ…っ
やめ、てっ
くださ…♡
拒絶するフリをして
みせても
穴が吸い付いてきて
期待していているのが
分かりますよ
ちが、あ…っ
んぅ、ン…っ♡
ズクズクッ♥
クププッ♥
ぬちっ♥
ちゅっ♥
あ、はいっちゃ
だ、めぇ…っ♡
あっ♥
クチュ♥
クチュ♥
プチュ♥
プチュ♥


サイラスさんの…っ
俺のより太くて長くて…
イイトコに当たる…♡
ドクン
ドクン
はぁ♡
ん♡
あっ♡
ゼクッ ゼクッ
ピクン♡
ピクッ♡
ナカがうねって
絡み付いてきますね
はぁ♡
ん♡
やはり意識がある方が
反応も良いのでしょうか
ピクン♡
へ…？
あっ、や♡
ゆび、動かしちゃ、
だめ、です…っ♡
チュ♡
チポ♡
くちゅ
ぬち♡




やあっ
ちが…っ♡
ほんとにっ
だめだからぁ♡
ぐぐぐ
ぐぐぐ
んぉっぉぉー…♡
あっ♡はっ♡
んぃっ♡
はっ
ぱちぱち
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぬちぬちぬち


びくっびくっ
あっ
はっ
あぁっ
ニリュ
ニリュ
ニリュ
ニリュん…♥
ビクッ
ビクッ
ビクン
あっ
ニリュ
ニリュ
ニリュ
ちゅぽっ
キュプッ♥
ぴんっ!!
ぴくんっ
ぴくっ
ビクッ
ビクッ
ビクン
ひっ
ニリュ
ニリュ
クニ
クニ
あぁっ
あっ
だめっ
ぐぢっ
はっ
ちゅぷっ
ぢゅうううっ♥
Lo♥
んあっ
あっ
やっぱぁっ
ビクンッ♥
(はぁ
(はっ
はっ
ぢゅうう
ぢゅうう
ぢゅう
ぢゅう
ぢゅう
あっ
ガクッ
ガクッ
おっ
いぁっ
やっだぁっ
まん
まん
やめっ
でっ
いっ
ぐぢっ
ぐぢっ
ぐぢっ
ヌプッ
ヌポッ
ぬくぬく
ぽっくぷっ
ガクッ♥


ぱちゅぱちゅ
ぬちゅ…ぬ…
やっ！
サイラスさんっ
まって、ください
俺、イったばっかりで…っ


ユーシ様は射精なされないので
オーガズムを感じられた際は言葉にして教えていただけますか？
は、へ…？
はぁ
はっ
はっ
ピクッ
ぴくん
おぉ
びくっ
ビクッ
ガクッ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

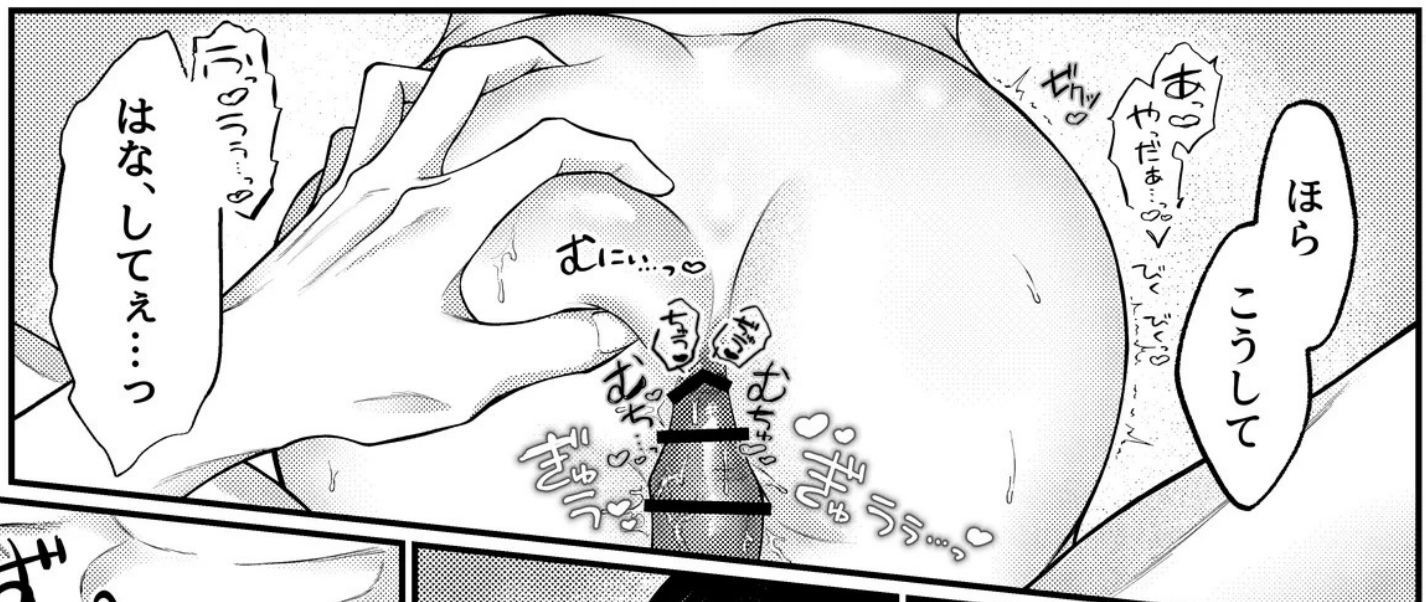

そろそろ頃合いでしょうか
んあ…っ♡
や…っ
あ…っ
ひ…っ
え…？
な、なに…
ビキッ
ズルッ
ビキッ
ヒクヒク
のはあ…♡
ばさ
さ、サイラスさん…？
あの、ちょっと待―
いいえ、もう待てません
ひっ…！
びくっ
ぴとっ♡
ひくっ♡
ぴと♡
ぜクッ
あ…
あ…ん♡
やめて♡
ください♡
ぷちゅ♡
ちっ♡
ちゅ…っぽ♡
ぬち…っ♡
ちゅ…♡
ヌチュ…ッ♡


んっ…くっ…
だ、め…
入っちゃ、う…
はぁ…っ
ふ、あ…っ
あ、抜け、ちゃ…
ぴくっ
ぶるっ
あ…っ
ん…っ
ちゅぽっ
ぬちゅ…
くちゃあ…
ユーシ様もこのままではお辛いのではありませんか？
あ…っ
ん…っ
くち…
ぬちゅ
ぷちゅ
ちゅう…
にちゅ
くちゅ…
自慰をなさるよりもずっと気持ち良くなれますよ
少しだけ最後までは致しません
ユーシ様を楽にして差し上げたいのです
っ…
少し、だけ…？
ええ
少しだけです


はっ
あ…っ
ちゅ
ぢゅ
っ…ン、先っぽ、
だけなら…♡
チュプ
スキュッ
バイッパイッ
ちゅかっちゅかっ
ビクッ
ビクンッ
か…
はっ!!
ぢゅぢゅ
お…
あぁ…っ
きゅ
ムニュ
きゅんっ
きゅうっ
びくっ
びくっ
は、あ…?
ちゅかっ
ちゅっ
はっ
はっ
ブルッ
ブルッ
あっ
はぁ…ん
ぎゅうっ
きゅうっ
ちゅうっ
ぢゅうっ
ああ、すみません
随分と柔らかいので、
誤って奥まで挿入(はい)ってしまいました
キュンキュン
ぎゅうっ
きゅうっ
ちゅうっ
ぢゅうっ
みちっ
みちっ


〝少しだけ〟のお約束ですからね
すぐに抜きますので
あ、や、まって…っ
いま、うごいちゃ♡
はっ♡
はぁ…っ♡
ぐぐ…っ
ずぬ…ずりゅっ
ぬるーーっ
ずぬ…ずる
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡


や、おく、だめ
抜くって…
いった、のにぃ♡
すみません。
わざとでは
ないのですが
抜こうとすると
襞が絡み付いて
くるのです
ぱちっ
ぱちっ
はっ
はぁ…っ
ブルブルッ
ガクッ

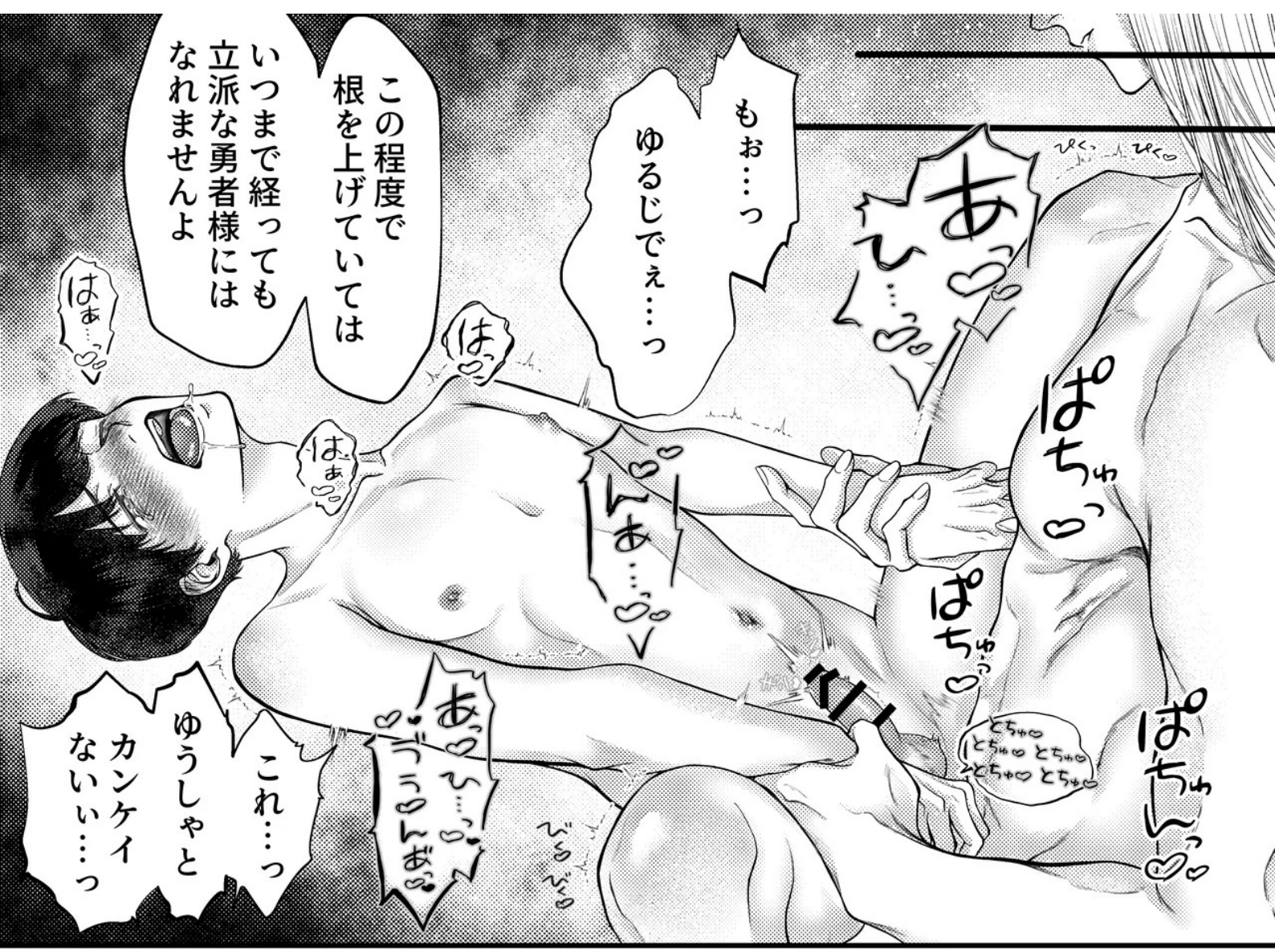

ほら
こうして
はな、してぇ…っ
あっ
やだぁ…
むにぃ…っ
むちっ
ぎゅうう…っ
ゼクッ


ずぷぷ…っ♡
ぎゅっ
きゅうっ
ぎゅんぎゅん
ブルブルッ♡
お…っ
はぁ…っ
あぁ…っ♡


だめ、なのに…っ
はっ
あっ
はぁ…っ

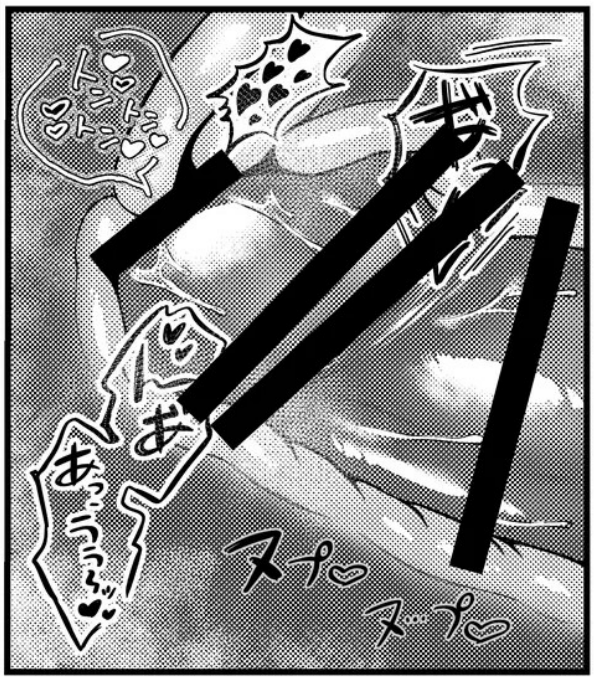

は、や、だめっ
だ、め…♡
ぬぷ…
ずぷぷっ
はいっちゃうぅ♡
ぎゅ
ぎゅ
ゼクッ


少し意地悪が過ぎましたね
はぁ…？
お望み通り
お腹の1番奥まで犯して差し上げます
ドチュッ
ドチュッ
パンッ
ぱちっ
ぱちっ
ぱちゃっ
ぬちゅ
ぐちゅ
ぷちゃ
ぶぢゅ
ぱちゃんっ
ぷしゃぁ
ガクッ
ガクッ




やっまた…♡
いく…っ♡
ぱちぱちっ
ばっちゃっ♡
やっだぁ♡
んぢゃっ♡
はぁ♡
は…♡
あっ♡
ぱちっ
んぁ…♡
ぱちっ
ガクンッ
おっ♡
ぢゅっ♡
ぢゅっ♡
ぢゅ


や、あ…っ
だめ…っ！
ソレ、っ
やだぁっ
やめでぇ…っ
ギッ
ギッ
ぱん♡
パチュ♡
ぱちゅっ♡
プルンッ
プルッ
ヘニ
ぐぢゅ♡

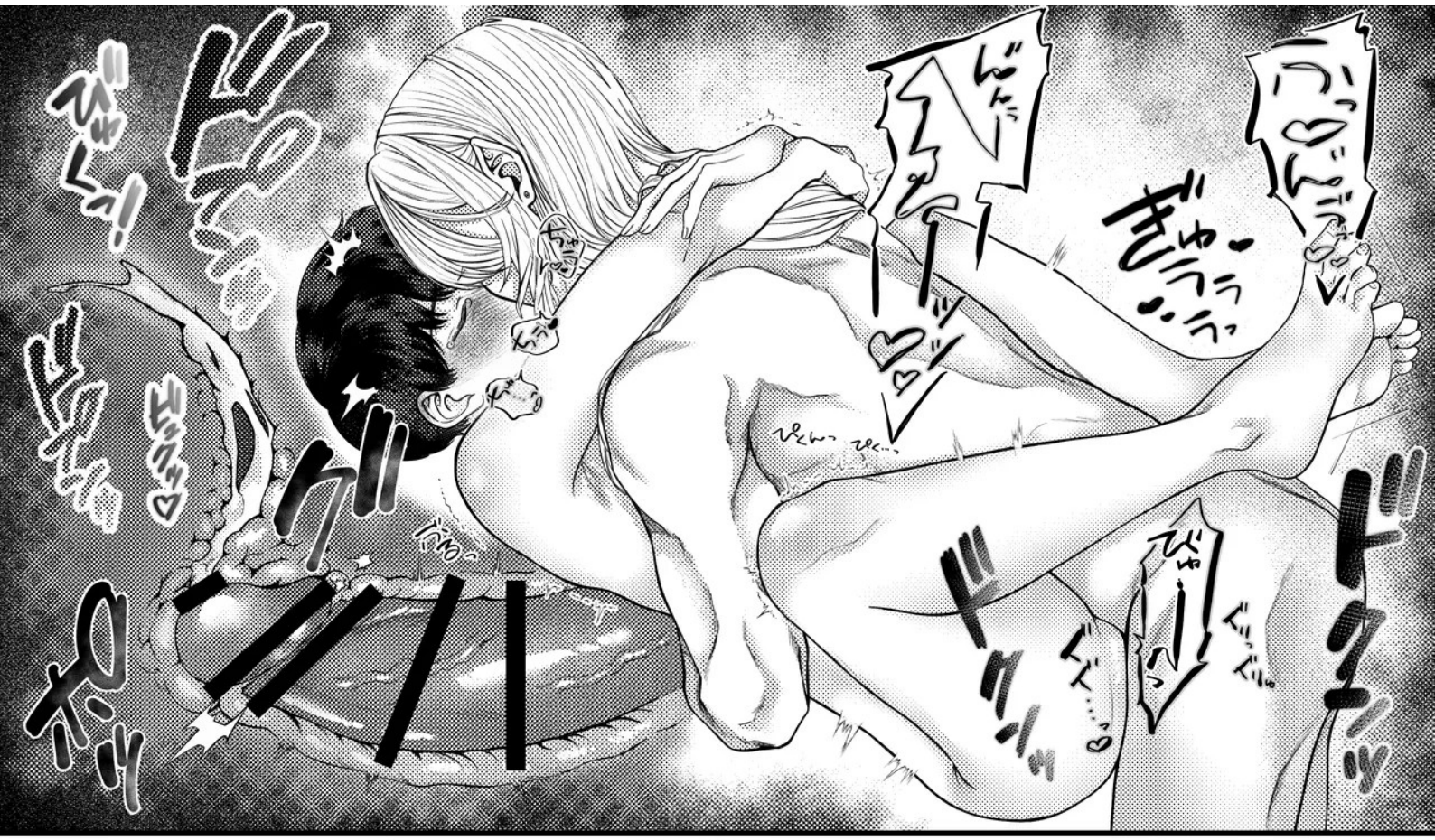

ぐぢゅ♡
ぐぢゅ♡
ぁ♡
あっうぅ♡
ヌプ♡
ヌプ♡


やだっ
そこ…っ、ヘン♡
や、だぁ…っ
こんなにも
締め付けて
説得力が
ありませんよ
ぉっ
ぱん♡
ぱちゅ♡
ぱちゅっ
ブラッ♡
おぁ…っ♡
はぁ♡
はぁ♡

ズチュッ♡
ズキッ♡
ぉぉ♡
ぉぉ♡
ぉぉ♡
ぉぉ♡

ぐりぐり♡
ぉっ♡
ヘニ


サイラスさんっ
お願いします…っ
ゆるしてっ
も、ムリぃ…っ
…困った
勇者様ですね
だめ、なのに
ちゅーするの、きもちぃ…っ
おなかの奥、あつくて…
ぢんぢん、して—


ぐぐぐ
ぎゅぅぅぅ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ


がばっ
っっ…！
昨日のアレは―!?
服着てる…
…夢？
ではありませんよ
おはようございます
ですよねー
朝からキラキラだー
ああああっっ!!!
やっぱり昨日の
あんなことやそんなことは
全部現実だったんだ～!!
ていうかサイラスさんは
一体なんであんなことを!?
俺の変態オナニーを♥
目撃したショックで
頭がおかしくなったとか!?
…ユーシ様
ギュッ…
はわ…


サイラスさ…
って、え!?
泣いて…!?
ぽろぽろ
申し訳ありません
非道な行いと
知っていながら
ユーシ様への
想いが溢れ
あのような
ことを…
えっ
あ、え?
ユーシ様、ずっと貴方を
お慕いしておりました
お、したい…?
昨夜の出来事も
決して魔が差したから
ではありません
ずっと貴方に触れたいと
望んでいたのです


ユーシ様、貴方の
貞操を奪ってしまった
責任を取るためにも
結婚を前提に交際して
いただけませんか？
キラ
キラ
結婚…。
って、結婚…っ!?
いやいやいや
ええええ!?
私如きがユーシ様の
伴侶になるなど
分不相応
でしょうか
いやっ
そういうん
じゃなくてっ
その、今まで全然
そういう風に思って
なかったので
ビックリしてる
というか…
うーん…
確かにサイラスさんは
めちゃくちゃ美人だし優しいし
ダメダメな俺を見捨てずに
ずっと支えてくれて…
って～、ダメだ！
頭ん中こんがらがって
まともに考えらんない！


真剣に考えるのでっ
ええいままよ！
少しだけ時間をください…！
……
ええ、勿論です

じっくりと時間をかけて必ずや落としてみせます
あ、はは…落とすって恋に、で合ってますよね…？
ふふふどうでしょう
目が笑ってないぃ…！


お父さん　お母さん
ダメダメ勇者な俺ですが
なんだかんだで異世界でも
生きていけそうです
わーんっ発情期のオークの群れに捕まっちゃったー!!
オーク一体につき口付け一回で助けて差し上げますがいかがなさいますか？
っっ～！サイラスさんの人でなし～!!!
エルフですので
追伸
お婿じゃなくて
お嫁に行くことに
なりそうです

小ネタ的な人物紹介コーナー



魔導士　サイラスさん

美形が多いエルフ族の中でも特別に
容姿が秀でている。
柔和な見た目に反して利己的で
目的のためなら手段は選ばないタイプ。
はじめは勇者様のことを
「無知で愚鈍な異世界人」と思っており、
適当に恩を売って大金を巻き上げる
算段だった。
偽善者は嫌いだが、勇者様の場合は
偽善者を装う程の能はないと判断して
信用している。
攻撃特化型の戦闘スタイルだったが、
勇者様と出会ってからは回復魔法を
覚える等献身的(?)に支えている。
(対価はしっかりいただく)



勇者様（たなかゆうし）　田中勇士くん

最初は剣と盾を装備していたが、
「刃物は危ない」ということで
現在は丈夫な木の棒を装備している。
すぐにぼったくられるので、お金の
管理はサイラスさんに一任している。
経済的にも身体的にもサイラスさんに
命を握られているような状態で
逃げられない。
(今のところ逃亡の意思はない)
イマイチ状況を掴めておらず
睡眠姦されていたことには気付いて
いないが、サイラスさんが腹黒い
ことには薄々気づき始めている。
最近嬉しかったことは、「木の棒の
先に小鳥が止まってくれた」こと。

あとがき

ご購読くださった皆様、誠にありがとうございますm(_ _)m
オナバレからのおせっせの流れでいつ勇士くんの服を
脱がせればいいのか分からず、最終奥義の時間経過で
いつのまにか服を脱いでいる戦法を使ってしまいました。
「コイツどんだけ着衣にこだわりがあるんだよ！」と
思われたらどうしよう…！という焦りと同時に、
「意地でも乳首を描きたい！」という一心であり得ない位置で
常に固定されたシャツが爆誕してしまいました。
普通に考えてシャツがちょうど乳首のところで留まっている
ことなどあり得ないと思うのですが、サイラスさんが
チラリズムの魔法をかけたということで無理矢理片付けました。
また、一生前戯をしているせいでいつまで経っても挿入に至らず、
「このままこの2人は朝まで前戯をしているのでは！？」と
恐怖しながらなんとか挿入に漕ぎ着けることができました。
そしまた801本を描く機会がありましたら、上記の反省を踏まえて
そう少し段取り良くおせっせを描きたいなと思いますm(_ _)m

改めまして、あとがきまで目を通してくださった皆様、
誠にありがとうございます…！！m(_ _)m

奥付

発行者	ぽむ
連絡先	sdrawer22@gmail.com
X(Twitter)	@mupopotamus
Pixiv ID	user_hpkf3547